



菅波 茂

A M D A 健康開発銀行を紹介したい。貧困対策の切り札としてアジアやアフリカで活動している。基本は小規模融資である。意欲のある人たちに1、2万円を貸し出すのである。事業が成功するように指導する。更に、病気になるように健康教育をする。字が読めない知識の吸収の妨げになるので識字教育をする。プログラムはパッケージシとなっている。

借手は主として女性である。発展途上国の家族生活の中心は女性である。彼女たちは収益を家族のために使う。子どもを食へさせ、教育を受けさせる。住居を改修するなど。男はともすれば飲酒

やばくちなどの遊興費に使ってしまいがちである。

貧困対策としての小規模融

資はバンングラデシユ人のユー

ヌス・元シカゴ大教授によつ

て開始された。彼は母国の

の貧しい村で一生懸命に

手芸品を製作している女

性がなぜ貧しいのかを不

思議に思った。原因は手

芸品の材料を購入する借

金だった。金持ちには金利

が15%だが、貧しい人た

ちは25%だった。教授は

自宅を担保に借りた資金

を15%の金利で彼女に貸

した。10%の金利差は彼

女の収益となった。彼女

は子どもに教育を受けさせ

家も改修するなど生活の改善

をすることができた。

公正とは意欲と能力のある

人に機会を与えて自己実現さ

女性支援銀行

欲や能力があっても機会が与えられずに自己実現ができないことである。98年にクリン

トン・元米国大統領がワシ

ントンでユーヌス元教授を招い

て小規模融資世界大会を

開催した。以後、小規模

融資は貧困対策の標準に

なった。A M D A 健康開

発銀行は医療 N G O の特

性を生かした小規模融資

の改良版である。

国連の提唱する「男女

共同参画社会」のコンセ

プトに基づいた潮流が日

本全国を席卷している。

「男女共同平等社会」が

出口論として強要されて

いる。参画は入口論である。

意欲と能力のある女性に機会

を与える社会システムの構築

がポイントである。

機会とは何か。極論すれば

社会的地位が融資である。更

に融資を受けた女性が社会参加しやすいように生活環境の改善が不可欠である。それは

育児と障害を持った家族の介

護である。A M D A 健康開発

銀行の識字教育が育児支援、

健康教育が介護支援になる。

女性支援銀行を提唱した

い。意欲と能力があり事業を

起こしたい女性に無担保で融

資するとともに、育児と介護

支援を改善する総合支援制度

である。成功者である男性の

ネットワークが事業の成功を

支える。東京都の石原知事は

中小企業を支援する都民銀行

構想を推進している。岡山県

は明日の県民力を育成する女

性支援銀行構想を提唱しては

いかだろうか。「男女共同

参画社会」のコンセプトのも

とに。

(アジア医師連絡協議会代表、

題字は筆者)